



本田用 **豆つぶ**® 殺菌剤

いもち病と穂枯れ、紋枯病

イッカツ

一成分で一括防除

オリブライト®
250G

**豆まき感覚で、
しっかり防除**

やや深めの
水深で散布



葉いもち



紋枯病



穂枯れ(ごま葉枯病菌)



実物大写真(製剤)

10アール当たり
250g



特長

1

本剤は、粒径約5mmの豆つぶ製剤で、10a当りの使用量が250gと少量、省力型の水稲本田用殺菌剤です。

2

豆つぶが水面に浮遊しながら速やかに崩壊、分散し、有効成分が広く均一に拡散するため安定した防除効果を発揮します。

3

有効成分のメトミノストロピンは、いもち病、紋枯病、穂枯れに対し、高い予防効果を示します。

4

速やかに根部から吸収され、長い残効性を有し、散布適期幅が広く、使いやすい薬剤です。

5

手まき散布(ゴム手袋着用)や大型水田での動力散布機により、水田に入らず畦畔からの散布ができます。

豆まき感覚で、いもち病をしっかり防除

オリブライト[®] 250G

農林水産省登録 第21194号

有効成分：メトミノストロピン・・・60%

毒性：普通物

■適用病害の範囲および使用方法

*本剤およびメトミノストロピンを含む農薬の総使用回数

作物名	適用病害名	使用量	使用時期	総使用回数*	使用方法
稲	いもち病 紋枯病 穂枯れ (ごま葉枯病菌)	250g/10a	収穫45日前まで	1回	散布
					無人ヘリコプターによる散布

2008年7月現在の登録内容

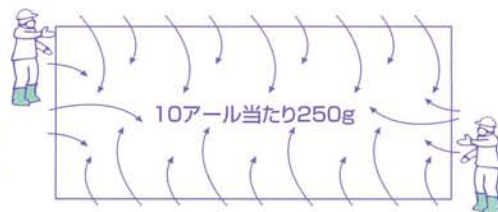
上手な使い方

本剤は水面浮遊型の自己拡散剤で、優れた水中拡散性を有します。従来の粒剤のような均一散布でなくとも優れた効果が発揮できます。大型水田では背負い式の動力散布機により、水田に入らず畦畔から散布ができます。



①使用方法

ゴム手袋をして、袋から薬剤を一握りすくい取り、10a (20m×50m等)の水田では約4m毎に1回、30a (30m×100m等)の水田では約3m毎に1回投げ入れてください。

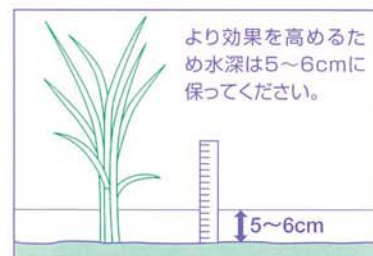


●投げ入れる間隔の目安(ひとつかみ10gのとき)

	圃場面積	処理辺	散布する距離	散布間隔
圃場A	20m×50m	10a 長辺2辺	100m	4m
圃場B	40m×50m	20a 長短4辺	180m	3.6m
圃場C	30m×100m	30a 長辺2辺	200m	2.7m

②水管理

散布時はやや深めの湛水状態(5~6cm)で止水にして処理し、3~4日は湛水状態を保ってください。自然減水により田面が露出するようになったら、通常の水深になるまで水を入れて止水にしてください。



⚠ 注意事項

- 本剤をいもち病に使用する場合、葉いもちの初発10日前~10日後の散布で、葉いもちに有効であり、また、穂いもちに対する効果も期待できますが、穂いもちの多発が予想される場合には、穂いもち対象剤を併用することが望ましいです。
- 散布に当たっては、湛水状態(水深3~5cm)で均一に散布し、特に、藻類、表層剥離などの水面浮遊物が多い場合は、拡散が不十分になるおそれがあるため、ていねいに散布して下さい。また、散布後少なくとも4~5日間は湛水状態を保ち、田面を露出させず、散布後7日間は落水およびかけ流しはしないで下さい。
- 本剤の使用により、稲の葉に褐点が生じる場合があるので、所定の使用量を厳守するとともに、次の事項を十分注意して下さい。
- 葉いもちの初発生の遅い地域または早生種に対しては、本剤の使用時期のなるべく早い時期(出穂30日前頃まで)に使用して下さい。

- 急激な温度上昇がおこる気象条件下では、葉に褐点が生じやすいので、フェーン現象などが予想される場合は使用しないで下さい。
- 本剤を散布した水田の田面水を他作物の灌水に使用しないで下さい。
- 中干し後に使用する場合は、入水し1日以上湛水状態を保った後に散布して下さい。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は病害虫防除所など関係機関の指導を受けて下さい。
- 無人ヘリコプターで散布する場合は、次の注意を守って下さい。
- 散布は使用機種の使用基準に従って実施して下さい。
- 無人ヘリコプター用粒剤散布装置によって湛水散布して下さい。
- 事前に圃場規格に合わせて粒剤散布装置のメタリ

- グ開度、インペラ回転数を調整して下さい。
- 周辺部への飛散防止のため、圃場の端から6m以上離して圃場内に散布して下さい。
- 散布薬剤の飛散によって他の動植物などへ影響を与えないよう、散布地域の選定に注意し、散布区域内の諸物件に十分注意して下さい。
- 水源地、飲料水などに、飛散・流入しないように十分注意して下さい。
- 機体の散布装置は十分に洗浄し、薬剤タンクの洗浄水は河川などに流さず、環境に影響を与えないように適切に処理して下さい。
- 水産動植物(魚類)に影響を及ぼすので、養魚田では使用しないで下さい。
- 無人ヘリコプターによる散布で使用する場合は、河川、養殖池などに飛散しないよう特に注意して下さい。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。

バイエルクロップサイエンス株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-5 〒100-8262 www.bayercropscience.co.jp

お客様相談室: ☎ 0120-575-078 (9:00~12:00, 13:00~17:00) 土・日・祝祭日のそく

F-2067/08.07.ZN